



今だから求められる農泊の魅力とネットワーク構築の意義

~重点支援DMO秋田犬ツーリズムの事例より~

公益社団法人 日本観光振興協会 大須賀 信
2022年9月30日

・コロナ禍で三密を避ける、少人数での旅のスタイルが強まる

農泊は、都市部を離れ、家族や少人数グループでの宿泊が多くまさにアフターコロナの理想的なスタイル

・持続可能な社会を創る、SDGsの概念の世界的普及

農泊は、環境負荷も少なく、人口の少ない地域でも持続的な経営が可能な宿泊形態

・魅力的な「田舎」を体験することが日本に来る外国人の目的に

訪日外国人、特に欧米諸国や発展著しいアジアの国からの観光客には「日本の田舎が美しい」という人が多い。特にリピーターこそ、すでに観光地化されたところではない場所を指向する。



自信をもって農泊を経営して
世界に自慢できる日本の「農泊」を
「NOUHAKU」
にしていきましょう！
英国などの「B&B」に匹敵するコン
テンツに！



愛知県での農泊。何が魅力か。どうやって魅力をPRするか。誰に来てほしいか。

予想される皆様の心の声は・・・

- ①「愛知県に農業ってイメージないからな・・・」
- ②「長野や岐阜みたいな大自然はないし不利・・・」
- ③「やっぱり外国人や東京・大阪から来てほしいよ」

本当にそうでしょうか？

- ①愛知県は農業産出額全国8位(H30年)の「農業県」です！自信をもってPRしましょう。私の故郷の千葉も同じ(全国4位)ようなイメージです。
- ②長野や岐阜にない「海」があります。JF様との協力なども視野に、農業＋漁業も考えていける可能性があります。交通の便がいいからこそ「気軽に来られる農泊」をめざせるかもしれません。
- ③インバウンドも大切です。東京・大阪などの遠方からのお客様の方が単価が高いかもしれません。でも、近場にも掘り起こせるマーケットはあります。

名古屋など近距離のお客様の誘客を考えたことはありますか？真剣に取り組んだことはありますか？

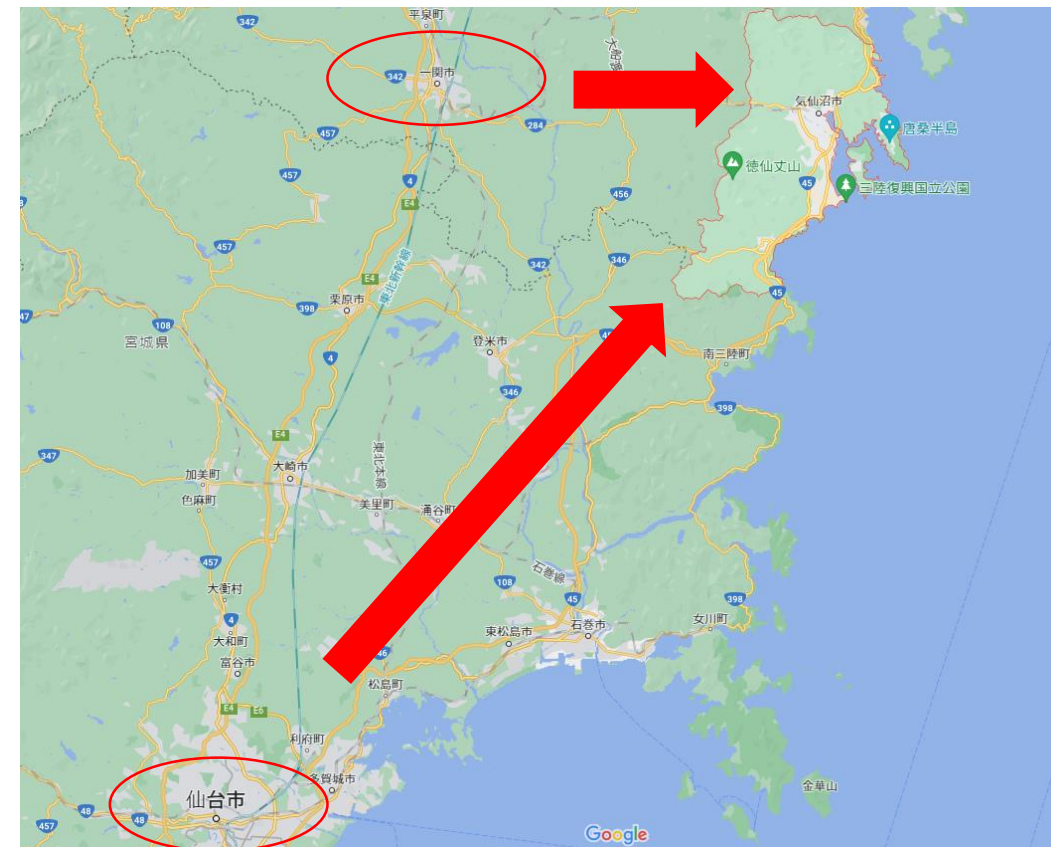
withコロナの観光戦略マイクロツーリズム推進で近場からの利用を狙う

6月19日、県を跨いだ移動が解禁され、観光業再開の動きも見え始めた。気仙沼でも、緊急事態宣言下で休業や時間短縮営業を余儀なくされていた事業者が徐々に通常営業を再開している。

そのような状況下で気仙沼DMOが着目するのはマイクロツーリズムだ。今後、感染症拡大の第二波、第三波が発生し、規制と緩和を繰り返しながら緩やかに旅行需要が回復することも見据え、まずは近隣に住む既存顧客をメインターゲットとした施策を展開する。

マイクロツーリズムや近隣からの観光客の需要を取り込む動きは、日本だけでなく世界的なトレンドだが、気仙沼ではデータに裏付けされた根拠がある。気仙沼版ポイントカードの会員であるクルーシップ会員の属性を見ると、気仙沼市外会員のうち3割強を占めているのが仙台市などの宮城県民だ。宮城県最北端に位置する気仙沼では、一ノ関市をはじめとした岩手県の会員の割合も高いが、宿泊も見込めると判断した宮城県在住の会員を最重要地域に設定した。2019年に気仙沼中心エリアで行った街頭アンケート調査でも、宮城県からの来訪が55%と一番大きい。また、2019年の宿泊統計調査からも、市内宿泊の37.5%が宮城県ということが分かっている。さらに、岩手県含む東北圏からの来訪のピークは秋だったのに対し、宮城県民のピークが6-8月だったことも決め手となった。

やまごごろ インバウンドコラム2020. 7.17より





秋田県北秋田郡上小阿仁村 農泊「百笑」

- ・人口2000人、秋田県でも最小の自治体で村の唯一の宿泊施設。高齢化率6割。全国でも最高の高齢化率の秋田県の25自治体でも最高。
- ・2020年1月からの準備期間を経て2020年末に開業。
- ・2021年末にはディスカバー農山漁村(むら)の宝アワード個人部門で東北農政局管内で選定。
- ・まずは秋田県北部にいる「地域おこし協力隊」にモニターで泊まってもらうなど地ならし、試運転。
- ・秋田県の県庁所在地秋田市からの週末の子供連れ家族などを狙う。(車で約1時間の距離)



地域おこし協力隊・AKITA INAKA SCHOOL(日本語学校)
武蔵野大学など観光客に限らない「巻き込み」をしている。
移住定住促進の「お試し農村生活」にも活用。





・2027年開業予定のリニア。品川～名古屋はたった40分に短縮されます。
東京からもぐっと身近になる愛知。
愛知県内の遠いところからと大して変わらなくなるかもしれません。

・「日本のどまんなかで農泊を」(例)

愛知県の日本の中央に位置すること自体を農泊のキャッチフレーズにして愛知県の農泊のアイデンティティにするなど工夫できます。中部国際空港との連動も大切です。

・今後も感染症の流行は繰り返されるかもしれません。

- A 愛知県内や近隣県からのマイクロツーリズム
- B 東京・大阪からの国内富裕層
- C 海外からのインバウンド
- D 教育旅行

など、ターゲット層はある程度複数持つことで、例えば感染が拡大しても農泊の三密を避けられる利点を謳いながら、「B・CがだめでもAで稼ぐ」「Aと県内からのDで稼ぐ」など柔軟な対応をして乗り切っていく。

「ALL AICHI」でまとめれば、絶対に可能です！

ネットワーク構築 (WEB・SNSで)



「農泊」や「ファームステイ」の κατηγοリーをぜひ作っていただくと良いと思います。
観光客はみなさんが思った以上に公式サイトをチェックしています！

大館市まるごと体験推進協議会

お問い合わせ



大館市まるごと体験推進協議会では、「学ぶ」「体験する」「ふれあう」をキーワードに、農作業体験や寄りたんぼづくり体験、そば打ち体験、曲げわっぱ手作り体験などの体験メニューを提供しています。体験の提供だけではなく、市内に点在する農家民宿をネットワーク化し、大館市を訪れる方を総合的にサポートする体制を整えており、個人やグループでの受け入れはもちろん、教育旅行など団体での受け入れにも力を入れています。

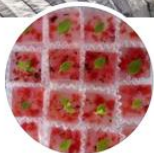


アエルカム秋田!

農家民宿 農家レストランを 開業しよう



愛知県でも県単位でグリーンツーリズムのHPなどがあるとより良いですね。



農家の宿 星雪館

@seisetsukan · 興味 · 関心

詳しくはこちら

akita-gt.org

秋田県仙北市にある農泊「星雪館」

日々の暮らし、決して特別でないものをアップしているだけ。

でも、とても行きたくなる、泊まりたくなるお宿です。

皆さんでもすぐできます！





Aichi Now 【愛知の観光情報】

@aichikanko · 観光案内所

詳しくはこちら

aichi-now.jp

個々の農泊のSNSアカウントを作成、発信を開始

→県内7つの協議会・DMO・観光協会等のSNSでシェア

→県の公式アカウントSNSでシェア

ほとんどお金をかけずに認知度は格段にアップします！

観光課、農林課などの垣根を越えて協力が必要です！



話題を検索

設定



Aichi Now 【愛知の観光情報】

@AichiNow_jp

愛知県観光コンベンション局の公式Twitterです。愛知のおすすめスポットやグルメ、イベントを紹介します！

📍 日本 愛知 🌐 aichi-now.jp 📅 2015年9月からTwitterを利用しています

92 フォロー中 6,946 フォロワー



各地の協議会等でまとまってSNS講習を開くのをおすすめします。

さらに、県内の7つの団体で定期的に集まる機会を作り「ALL AICHI」の機運を醸成していくことをお勧めします。

例えば「愛知の農泊はSNSでがっちりつながり外へ向かって発信する」というコンセンサスを「愛知県」または「AICHI」として推し進めていくのも一つの方法です。

STEP1

まずは協議会、エリアごとで、域内でお互いの農泊を体験してみる！

「〇〇さんのところのこの体験、うちでもできそう・・・」などの気づきが必ずあります！

STEP2

愛知県内でお互いのエリアの農泊を相互に訪問・体験してみる！

「△△では八丁味噌を使った料理を前面に出していたな。うちではシラスをメインに組んでみようか」

「▲▲ではみかん狩りを体験させていた。キャベツの収穫体験をとりいれてみよう」

STEP3

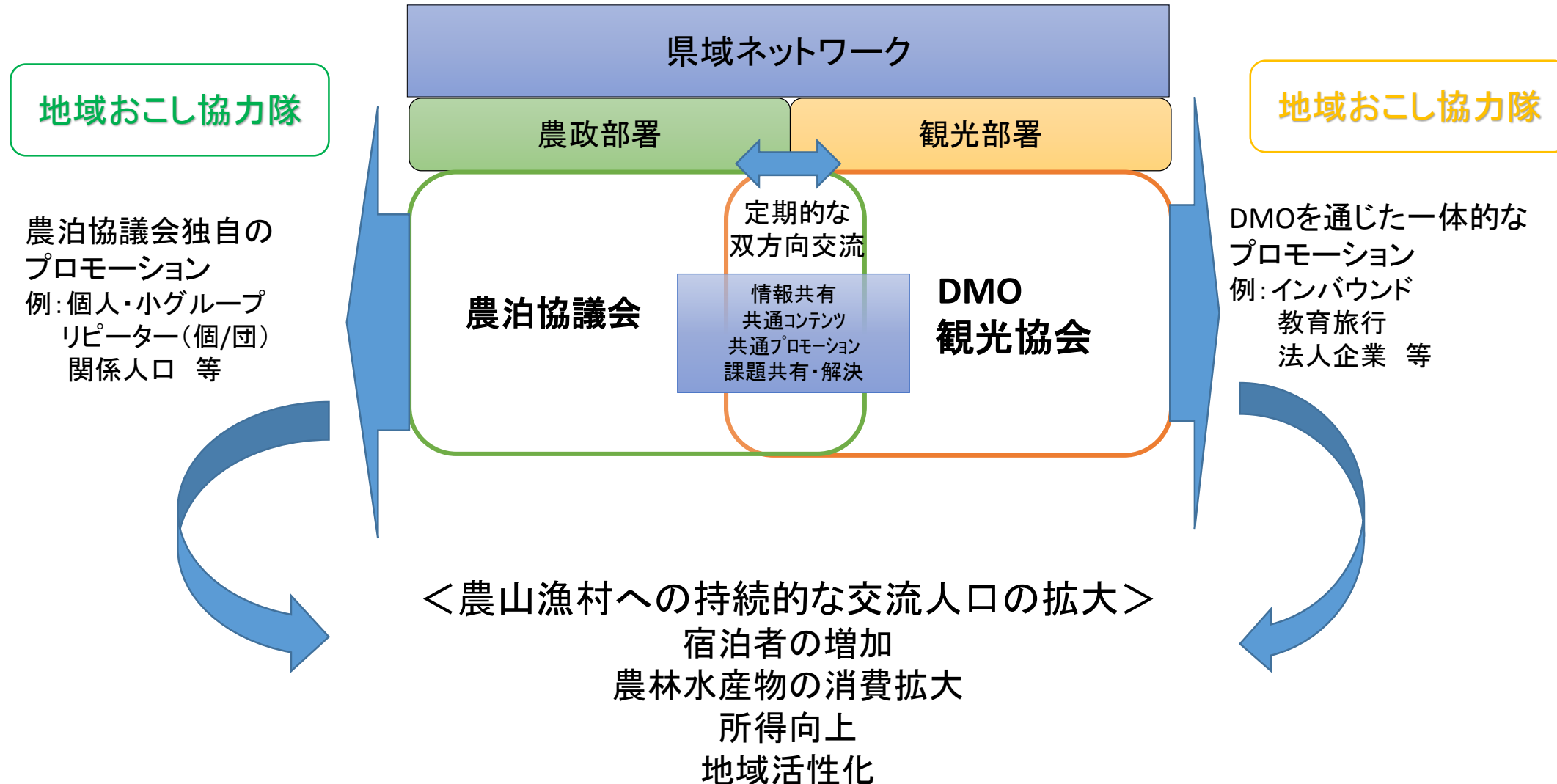
他の県の農泊を訪れてみる！

「■■県の農泊はみんなまとまりがあるな」

「こういう補助金を使っているのか」

「インバウンド対策が進んでいる・・・」

「思ったより国内客や教育体験受け入れが多いな」



「地域おこし協力隊」は総務省管轄。農林水産省でも観光庁でもない。しかも基礎自治体(市町村)に着任なので県が直接関与せず忘れられがち！そして活動のベクトルはDMOと同じ！活用しない手はありません！



—ご清聴ありがとうございました—